

# 糖尿病新聞

第7号  
2023年3月  
発行人：糖尿病  
指導検討委員会

## 糖尿病で知っておくべき検査結果の見方2

前回に引き続き、糖尿病の方へ向けての採血結果の見方について、一緒に学んでいきましょう。

### 糖尿病に関連する数値

#### ヘモグロビン(Hb)



赤血球の中心的な役割を担っているのがヘモグロビンです。腎機能が低下してくると、腎臓で作られている造血ホルモンの産生が低下し、貧血を引き起こします(腎性貧血)。ヘモグロビンも低値を示します。



#### グリコアルブミン

腎機能が低下すると、ヘモグロビンが低値を示すことがありますが、前回学んだHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)はヘモグロビンが低値を示すことで正しい数値が出ないことがあります。そのため代替指標としてグリコアルブミンが血糖値の指標として使われることがあります。

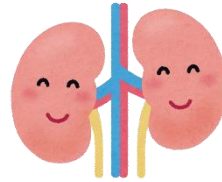
グリコアルブミンは約2週間程度の血糖値の変動を反映しているといわれています。

# じんきのう かんれん すうち 腎機能に関連する数値



## かりうむ K ・カリウム(K)

かりうむ からだ きのう ちょうせい みねらる じんぞう  
カリウムは体の機能を調整してくれるミネラルの1つで、腎臓  
はいしゆつ じんきのう ていか かりうむ  
から排出されます。そのため腎機能が低下すると、カリウムが  
たかく しんぞう うごき わるいえい  
高くなることがあり、心臓の動きがゆっくりになるなどの悪い影  
きょう てる かのうせい たかく  
響が出る可能性が高くなります。



## りん P ・リン(P)

りん じんぞう ちょうせい みねらる たいない りん  
リンも腎臓で調整されているミネラルの1つです。体内でのリン  
のうど こく ほね ほね せっかいか  
の濃度が濃くなると、骨がもろくなり、骨ではないところに石灰化  
おこしてしんきんこうそく のうそちゆう おこす かのうせい たかく  
を起こして心筋梗塞や脳卒中などを起こす可能性が高くなりま  
りん しょくひん ふくまれて とく しょくひんてんかぶつ おおく  
す。リンはどの食品にも含まれており、特に食品添加物を多く  
ふくむしょくひん おおい ひごろ かじょうせつしゆ き  
含む食品には多いため、日頃から過剰摂取しないように気を  
つけるひつよう  
付ける必要があります。



さいけつけつか じしん たいせつ がんばり けつか  
採血結果は自身の大切な頑張りの結果です。

せいか みえる もちべーしょんあつぷ  
成果が見えると、モチベーションアップにつながるた

りかい ふかまる おてつだい  
め、理解が深まるよう、お手伝いさせていただきます！

どうによびよう かんり じゅうぶん おこなわない ほうち じんきのう ていか どうによびようせいじんしょう  
糖尿病の管理を十分に行わないまま放置すると、腎機能が低下してきます。(糖尿病性腎症)

どうによびようとうせきよ ほうしどう どうによびよう ほう じんきのう ていか そうき はっけん  
糖尿病透析予防指導では糖尿病のある方の腎機能の低下を早期に発見し、

じんきのう ていか どうせきどうにゆう よぼう せんんにいし かんごし かんりえいようし  
腎機能の低下と透析導入を予防するために、専任医師、看護師、管理栄養士などによる

どうによびようとうせきよ ほうしんりようち ーむ ちりよう さぼーと  
糖尿病透析予防診療チームが治療のサポートをします。

ないかい しんさつび どうじつ かんごし にちじょうせいかつ しどう  
内科医の診察日と同日に、看護師による日常生活の指導、

かんりえいようし しょくじりようほう しどう おこなって  
管理栄養士による食事療法についての指導を行っています。